

日本シンクタンク協議会 2011年度 特別フォーラム 「激動する世界経済と日本の役割」

2011年3月に発生した東日本大震災と福島原発事故から、はや1年が経過した。これらの大災害は、わが国に甚大な被害をもたらしたばかりではなく、深刻化する地球環境問題などと相まって、社会のあり方を根底からゆるがしかねない大きなインパクトをもたらしている。

一方、海外においても、ユーロ危機、格差問題等が深刻化し、混迷の度合いを強めている。こうした出来事・事件は、グローバル資本主義の限界を露呈すると同時に、世界がまさに大転換期にさしかかっていることを暗示しているようにも思われる。

歴史的な大転換を経験しつつある世界の現状を踏まえ、これらの難題に対していかなる解決策が考えられるのか、どのようなパラダイム・シフトが必要なのか、また、その中で日本はいかなる役割を果たさなければならないのか。

こうした問題意識を背景として、日本シンクタンク協議会では、去る2012年3月13日に『激動する世界経済と日本の役割』と題して、日本を代表するシンクタンクの理事長5名をパネリスト・モデレーターとして招いた特別フォーラムを企画・開催した。

最初に弊社理事長・中谷巖が「激動する世界経済と日本の役割」と題する短い講演を行って、問題提起とした。

次いでパネリストが順に登壇し、それぞれの問題意識に基づき、わが国を取り巻く環境についての認識や今後の日本のあり方について意見を述べられた。

そして、パネルディスカッションにおいては、現下の金融情勢、資源自給、規制と産業競争力、予防医療、高齢社会の構築、原発問題、国際安全保障等、現代社会が直面する幅広いテーマについて活発な議論が展開された。

【開催概要】

開催日時：2012年3月13日（火） 14：00～17：00

開催場所：六本木アカデミーヒルズ49 タワーホール（東京都港区）

【プログラム】

第一部 問題提起・ショートプレゼンテーション（14：00～15：30）

- ◆ 「激動する世界経済と日本の役割」 三菱UFJリサーチ&コンサルティング理事長 中谷 巖
- ◆ 「日本経済と世界経済の潮流変化」 大和総研理事長 武藤 敏郎 氏
- ◆ 「日本の将来展望：東日本大震災を乗り越えて」 日本経済研究センター理事長 岩田 一政 氏
- ◆ 「激動する世界と日本」 みずほ総合研究所理事長 杉本 和行 氏
- ◆ 「日本『再創造』～『プラチナ社会』の実現に向けて～」 三菱総合研究所理事長 小宮山 宏 氏

第二部 パネルディスカッション（15：40～17：00）